

行田の小さな教会の建て替え計画

八代研究室

00412005

向井 智

1. 設計主旨

本設計では、プロテスタント教会の設計を行う。日本での宗教といえば、仏教や神道などが主としていろいろあるが日本にもキリスト教の信徒が約 100 万人いるといわれている。日本の人口の 1 パーセントだ。自分もその中の一人が埼玉に引っ越してきていろんな教会に行ったが、図 1・図 2 で示すように日本の教会というのは、ヨーロッパと違いこじんまりしたものも多く、神社や寺などと比べると目立たない。中には、目立つ教会もあるがごく一部だ。そこで私は、教会と一目で分かるようなシンボルを建築の中に組み込んで設計していきたいと考える。

2. 敷地

本敷地は、秩父線行田市駅からバスで 10 分程度、近くに埼玉古墳群周りには、図 3 で示すように行田中学、工場や道路を挟んで東側に行田市環境センターの施設、武蔵水路と荒川を結ぶ用水路がある。

用途地域：準工業地域

敷地面積：803.59 m² 述床面積：414.44 m²

建ぺい率：60% 51% OK

容積率 : 200% 25.5% OK

3. 計画内容

本設計は、私が通っている「行田カヴェナント教会」の建て替え設計である。この教会は、築 25 年の礼拝堂と会議などに使われる建物が隣接して建っている。近年教会員が増え定員 80 人位の礼拝堂に 90 人近く毎週礼拝を行いにやってくる。今まで試行錯誤して何とかその 90 人近くを収容していたが、ある日、礼拝中に訪ねてきた人が座るところが無く帰ってしまうということがあり、これを教会側が重

く受け止め新しく教会を建て替える計画が出ている状況である。

4. プラン説明

本設計では、聖書の中で完全数として表されている 7 という数字に着目し敷地の中央に七角形の礼拝堂を置いた。七角形の中に 2 点を基点と設定し補助線を引き周辺の部屋の形を自動的に決めた。図 3 の黒い部分が今回の敷地であるが奥には、教会運営の障害者施設『行田のぞみ園』があり、将来的に施設との行き来がしやすいよう図 4 のように駐車場を敷地の東側に配置した。

入り口に入っすぐ細い廊下を 5 メートルほど歩かせ礼拝堂へ入る。礼拝堂には、図 5 のように座って定員 150 人くらいを目安に考え、朝や夜いつでも誰でも入れるようにする。その他事務室・多目的室・キッチン・牧師室・トイレなどが必要になってくる。事務室は主に教会の会計を行う部屋である。多目的室は、子供のための聖書教室や昼食などを食べるスペースとして使うため、キッチンと隣接し置いた。また車椅子の方や障害者も来るので、図 6 のように床をフラットにし障害者用トイレを作るなどバリアフリー化も考慮した。塀と外壁をかねた壁に十字架をモチーフにした窓を並べ採光も入るようにした。礼拝堂では、毎週賛美歌やオルガンの演奏、コンサートや講演会などが開かれることがあり外への音漏れを配慮しボードを 3 枚張りにし防音効果を高めた。

《謝辞》

末筆ながら実測の協力をして下さった行田カヴェナント教会の皆様と矢吹博牧師に心から感謝の意を表す。



図1 現状教会外観



図2 現状教会内観



図3 敷地図

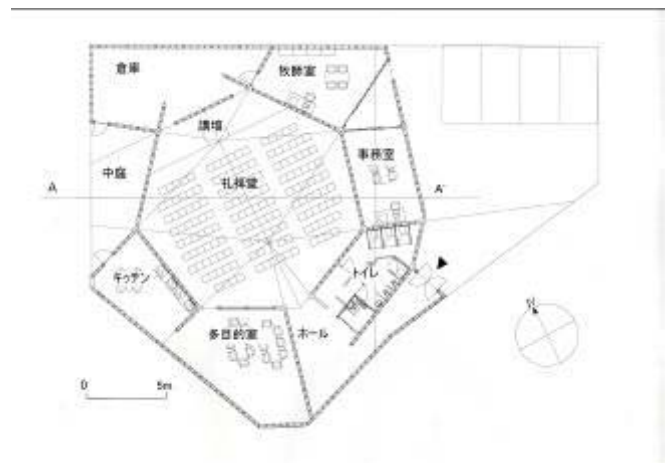


図4 平面図

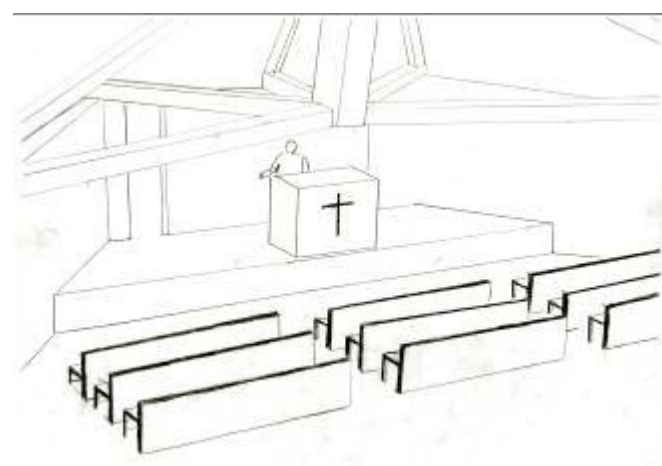


図5 内観パース

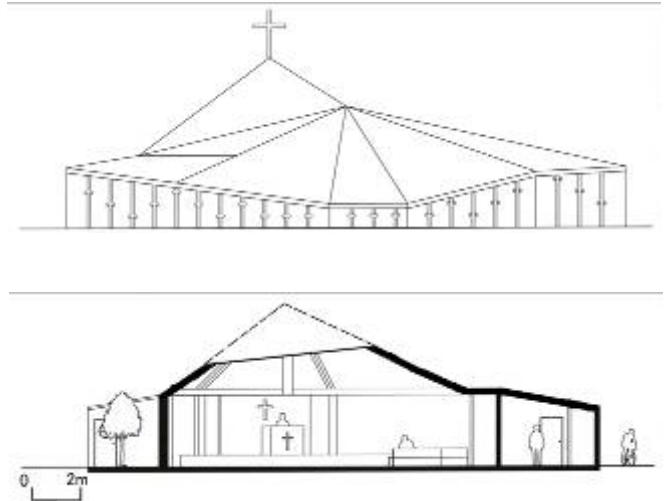


図6 南側立面図・A-A' 断面図